

日本学術会議 第二部主催 公開シンポジウム

「科学の社会的責任」

1. 主 催：日本学術会議第二部
2. 後 援：日本医歯薬アカデミー、日本農学アカデミー、生物科学学会連合
3. 日 時：平成 23 年 2 月 1 日（火）13:00～15:50
4. 場 所：日本学術会議講堂
（東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 番出口 徒歩約 1 分）

5. 開催趣旨：

1999 年にブダペストで開催された世界科学会議で、科学界は従来の「知識のための科学」に加えて「社会のための科学」の確立を目指すことが宣言され、科学の力で社会の問題を解決することが期待された。また各国は経済的発展を目指す「科学技術立国」政策を採用している。一方、科学者の不正行為が科学の質の低下を招いている現実もある。したがって科学の社会における責任を果たすためには科学の質保証が必要である。また、最近の会長談話で取り上げたホメオパシー問題のように、社会には非科学の横行や科学に対する不信などの現実もあり、それらに対する対策も必要である。そこで生命科学の各分野における科学と社会の関係に関する課題と対策について考えてみたい。

6. 次第（時間は予定）

13:00～13:05（5 分間）開会の挨拶

浅島誠（日本学術会議第二部会員、産業技術総合研究所
フェロー兼幹細胞工学研究センター長）

13:05～13:35（30 分間）科学の社会的責任・課題と対策

浅島誠（日本学術会議第二部会員、産業技術総合研究所フェロー兼幹細胞工
学研究センター長）

13:35～13:50（15 分間）医学の社会的責任・課題と対策

桐野高明（日本学術会議第二部会員、（独）国立国際医療研究センター総長）

13:50～14:05（15 分間）歯科医療の変遷

米田俊之（日本学術会議第二部会員、大阪大学大学院歯学研究科生化学講座
教授）

14:05～14:20（15 分間）薬学の社会的責任・課題と対策

橋田充（日本学術会議第二部会員、京都大学大学院薬学研究科教授）

14:20～14:35（15 分間）健康・生活科学の社会的責任・課題と対策

南裕子（日本学術会議第二部会員、近大姫路大学学長）

14:35～14:50（15 分間）農学・食料科学の社会的責任—課題と対策—

新山陽子（日本学術会議連携会員、京都大学大学院農学研究科教授）

14:50～15:05（15 分間）理学の社会的責任・課題と対策

黒岩常祥（日本学術会議第二部会員、立教大学大学院理学研究科・極限生命情報研究センター長、特任教授）

15:05～15:35（30 分間）ニセ脳科学のご注意

藤田一郎（大阪大学大学院生命機能研究科教授）

15:35～15:50（15 分間）まとめ、質疑応答

唐木英明（日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授）

◆◆◆ 参加費無料、事前の申込みは必要ありません。 ◆◆◆

（当日、原則先着順で定員 300 名です。）